

阿蘇立野ダム展望施設「タテット」視察

(令和7年3月14日)

○参加者 議員 9名

3月14日、阿蘇立野ダム仮設備ヤード跡地利用として木造平屋建ての展望施設が完成したので視察を行った。立野地域は九州北部豪雨、熊本地震と立て続けに大きな災害に被災し、9年経った現在も住民帰還率が6割程度に留まっている。今後隣接して広場や遊具を整備されると地域の賑わいや立野地域への帰還に期待できる施設である。

「タテット」…立野の「タテ」＋イタリア語で屋根を「テット」覚えやすく、呼びやすい名称。



坂本哲志衆議院議員と意見交換会

(令和7年3月15日)

○参加者 議員9名、太田村長

議会定例会休会中の3月15日に急遽、坂本哲志自民党国会対策委員長が南阿蘇村に表敬訪問された。村長、山室議長他議員参加の下、四季の森にて昼食を挟んだ意見交換会が実施された。

まず国会の現状を説明された後に、農業、観光、道路、村政についての様々な質問が村議より出された。その質問に1つ1つ丁寧に回答頂き、参考になる事ばかりであった。時間が足りない程やかで、貴重な意見交換会が出来た事に感謝致すと共に、新体制となった南阿蘇村への更なるお力添えをいただきたい。



町村議会新議員研修会

(令和7年3月26日)

○参加者 議員4名

3月26日、「議会の制度と運営について」の研修会を熊本県町村議会議長会、事務局長古家陽介様の解説で健軍の市町村自治会館で行われた。南阿蘇村、大津町、西原村、湯前町から事務局員3名、新人議員13名の内、本村より4名の新人議員が出席した。議員の座右の書として配られた「議員必携」に沿って、定例会、議案の審議、発言等の細かいところまで解説して頂いた。一読では難しいので、何度も熟読を重ねる事が大事だと感じた。

